

## 栗山町視察に参加して

江別市女性団体協議会  
鎌田 直子

栗山町には毎年秋のおまつりで訪れていましたが、視察に参加させていただいた事で初めて昼間に訪問しました。夜の賑わいとは打って変わって穏やかな街の風景に、見慣れている筈の景色がまったく別の街に見えて不思議な感覚でした。

到着後、栗山町の教育委員会の方々とカルチャープラザ「Eki」にて様々な意見交換をさせていただきました。その中で、学校と連携して運営されている図書館のお話はとても興味深いものでした。

その後施設内を見学させていただきました。2階建ての施設は木を基調としていてとても明るく、ステキな雰囲気でした。な



により名前の通り栗山駅と直結していることにより、交通アクセスが良く、常時30程度のサークルが活動中との事。なる程と納得しました。平成19年には、天皇・皇后両陛下が訪問され、昼食会場として使用された事も伺いました。この雰囲気ならさぞかしくつろがれたのではないのでしょうか。そのほかにも、多目的ホールの可動式の客席など、とても使い勝手のいい施設だと思いました。

今回このように、他の地域の方達との交流や施設を見学する機会をいただき、とても良い刺激となりました。今後、わが街江別のより良い発展のために微力ながらかわりつづけていこうと思えます。お世話になった職員の方々、本当にありがとうございました。

## 支援事業終了報告

江別市子ども会育成連絡協議会

### 第10回「いのぼりフェスティバル

次代を担う子どもたちのシンボルである「いのぼり」に健やかなる成長を願いながら、江別の空に元気に泳いでもらおうとの思いで誕生しました本イベントも、今回で10回目を迎えました。

4月24日に河川防災ステーション前庭で行なった幼稚園児による20匹の掲揚セレモニーに始まり、千歳川の上に55匹のいのぼりを泳がせ、5月13日まで掲揚いたしました。

当事業のメインでもあります5月11日の「お楽しみイベント」は、折からの荒天により午後からの屋外イベントはすべて中止とせざるを得ない状況となってしまいました。屋内では人形劇や紙芝居、ジャグリングショー、バルーンアートなど多彩な催し物があり、多くの子どもたちの笑顔に触れることができました。

約3週間におよぶ掲揚期間中に6,404人もの方々が来場され、事業の目的、意義をご理解いただけたものと考えております。

今後市民参加のイベントとして定着し、青少年の健全な成長を地域ぐるみで見守り育てる機運を高め、市民が一体となって次代を担う子どもへの健全育成が図られるよう努力してまいりたいと思っております。

最後に、生涯学習推進協議会から御支援御協力を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。



### 江別演劇鑑賞会

#### 創立25周年記念ポスター展

江別演劇鑑賞会は、1988年に発足し、昨年、25歳になりました。そこでこれまで観てきた舞台のポスターや、舞台写真を展示してもっと自分たちの活動を広めていこうと、記念のポスター展を7月に大麻公民館、8月に野幌公民館のギャラリーの2ヶ所で開催しました。

来場された方々は、江別にこんなに有名な役者さんや舞台が来ていたのかと驚かれ、まだまだ演劇鑑賞会を知らない方もいるのだと、これからもPRをしなければと強く感じました。開催にあたり、生涯学習推進協議会からご支援をいただきました。誠にありがとうございました。

# 支援事業終了報告

江別まつことええ&北海道情報大学

2013年名古屋と真ん中祭り  
2014年、

ウマくいきますように!!

代表 柏木 真紀子



2009年に引き続き、2度目の名古屋と真ん中祭り出場。前回はチーム結成15周年、今回は真ん中祭り20周年のお祝い記念行事となりました。

今やYOSAKOIソーラン祭りの注目度は全国的にかなり高く、インターネット等からも多くの方がみられています。名古屋のステージに立った時も、街中を移動している時も、「まつことええだ！提灯のチームだ！江別まつこと、ええぜよ！」と盛んに応援の声を掛けていただきました。また、最終日のメインステージオープンニングを飾ったのは名古屋と北海道情報大学の学生合同チームの若さ溢れる踊りでした。離れた地でそれぞれの事前練習や当日の顔を合わせての練習、そして本番を通して交流を深めていけたこ

とも大変嬉しく思います。

江別からのお土産はどこの誰にでも喜ばれる江別小麦のラーメン。名古屋からいただいたものは2014年に向けての強いやる気と自信です。今後も江別市民の皆様に愛されるチームとなるよう、精一杯練習に励んでいく覚悟です。一層の応援をよろしくお願いたします。

## 一般社団法人江別青年会議所

### 德育の大切さ

私ども一般社団法人江別青年会議所は、昨年5月19日に江別市野幌公民館にて子育て世代を対象に「道徳心」や「德育」の大切さを伝えるための、講演会を開催させて頂きました。

「子は親の鏡」という言葉があるように、責任世代である私たち大人が「德育」の必要性や、希薄になつた道徳心を再認識する事、子どもたちにたくましい背中を見せることが必要と考え、企画をいたしました。講師として教育サポーターの仲島正教氏をお招きし、小学校での21年間に及ぶ教師経験をもとに、教育現場で得た子どもと保護者との様々な感動体験を交え、「大人が変われば子どもは変わる」「大人が子どもの応援団」と、力強く講演をして頂きました。ご参加頂いた方の中には感動の涙を流される方もおり、盛会の内に講演会を終える事が出

来ました。

私たちは今後も市民意識醸成を目的とした事業を展開してまいりますので、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 江別生涯学習インストラクターの会

### 支援費による活動の報告

副会長 松山 和子

江別生涯学習インストラクターの会では、年に3回の会員一般にむけた活動を行なっています。今年度は「野幌・町歩き歴史を学ぶ」、「成年後見人制度・はじめの二歩」、「親子で遊ぼう☆ヒントがいっぱい」を開催しました。体験型や講座として子育て支援と3つの柱を運営していく上で、活動のための支援費は大変貴重なエネルギーです。学ぶ場が広げれば多くの市民の方々に活用していただけるのです。

先日「親子で遊ぼう」では、和室というなごみのある空間でお

父さん、お母さんと大きな口で笑うたくさんの子供達と短いですが楽しい時間を共有することが出来ました。また来年度もこういった事業を展開できたらと思います。ありがとうございます。

## 江別日中友好の会

### 創立20周年をむかえて

事務局長(副会長) 後藤 一昭

平成4年8月に設立し平成24年8月には満20歳になっておりましたが、平成25年5月25日「あい」にて創立20周年記念式典・祝賀会を開催いたしました。

佐々木副市長、中国駐札幌総領事館より李春領事、蔣春雷領事、北海道日中友好協会より町田理事長に駆け付けていただきました。

中国と民間ベースでの学術・文化交流を主とし設立され、現在でも、国際交流センターでの中国語講座、北海道情報大学南京大学留学生との日中交流サロンの開催、中国への研修旅行、中国に関する講演会等々実施しておりますが、活動の歴史を式典のなかでスライドで紹介いたしました。

祝賀会では、活動の思い出を皆さんに発表して頂き、中国との民間交流の必要性・重要性を再認識した次第であります。

記念事業といたしまして、当会の会報「友誼」51号から100号までを創立20周年記念誌として編集・発行いたしました。興味のある方はぜひご覧になってください。

この度、記念誌発行に際しましては、多額の助成をしていただき大変ありがとうございました。改めて感謝申し上げます。

## 大麻スポーツ振興会

大麻体育館スポーツフェスタが開催されました  
事務局長 佐古 利男

太陽が目映いほどの快晴である。10月6日(日)の朝、9時30分老若男女が続々と集まってきた。9時45分開会式、各競技の要領とルール説明、ストレッチ体操で怪我の予防、10時過ぎから「玉入れ」「ストラックアウト」「ミニバレー」の部門に別れて、それぞれの競技を開始した。

## 「ミニ運動会」

玉入れ

5人1組で1チーム。制限時間1分間に何個の玉を「籠」に入れたかで、勝敗を競う。玉を使う手は片方のみ。

19チームが参加し、優勝したチームは86個も入れました。

ストラックアウト

5人1組で1チーム。10個の

ボールを1人2個づつ「的」に向かつて投げ、落としたパネルの枚数で勝敗を競う。

16チームが参加し、9枚中8枚のパネルを落としたチームが優勝しました。

ミニバレー

4人1組で1チーム。10ポイント先取の1セットで勝敗を競う。

小学生6チームが参加し、「ミニコンパクト」が優勝。一般の部は9チーム参加し、「フレッシュユレディース」が、日頃の練習の成果を發揮し優勝しました。

入賞したチームには景品が、参加者全員に参加賞が贈られました。

「その他の催しもの」

カンフー・太極拳・卓球・ラジボール卓球・ミニバレー・バドミントン等の体験コーナーや、ワンポイントレッスン等が行われました。初心者の方々が大勢参加し、軽い汗を流しました。健康診断や食事相談

これからのイベント

◆北陽美術協会 春季小品展

日時/3月18日(火)~3月23日(日) 10:00~17:00(観覧無料) 場所/野幌公民館ギャラリー

◆江別市スポーツ少年団 第33回空手大会

日時/3月23日(日) 場所/市民体育館

◆江別演劇鑑賞会

◎俳優座「櫻の木坂四姉妹」

長崎に暮らす三人姉妹の過去と現在の旅路。原爆によって失った幸せな日々を想う。

日時/4月18日(金)18:30 場所/江別市民会館大ホール 作/堀江安夫 演出/袋正

出演/川口敦子、岩崎加根子ほか

◎民藝「八月の鯨」

老姉妹のひと夏を描く感動作。奈良岡朋子、日色ともゑが姉妹役で共演。

日時/6月24日(火) 場所/江別市民会館大ホール 作/デイヴィット・ベリー 演出/丹野郁弓 出演/奈良岡朋子、日色ともゑほか

◆江別消費者協会

消費者の日 ミニ生活展

日時/5月30日(金) 場所/コミュニティセンター

江別での出会い

私は4年間江別市の野幌にある大学に通っていました。この4年間で私はたくさんの方と出会いました。様々な方と出会う事ができました。江別市には4つの大学がある為、サークル活動などを通して他大学の学生と交流する事ができました。そのおかげで学生同士刺激を受ける事ができ、とても充実した学生生活を過ごす事ができました。

北海道情報大学 情報メディア学部情報メディア学科4年 大橋 正汰(おおはし しょうた)



江別の好きなところ

私は江別に住み始めて3年目なのですが、大麻銀座商店街の温

江別の好きなところ

4年間、江別市に住み、商店街のイベント活動等を通して、江別の人の魅力を十分に感じる事が出来ました。特に、野幌商店街が運営する夏祭りや軒先ジャック、ハロウィンなど、普段学生生活では出来ないような大きなイベントであり、その一員として関われることは非常に幸せでした。

また、江別に戻ってきた際にはこのようなイベントなどに携わっていただけらと思います。



江別の好きな所

私は江別に通う大学生になり、映画館もずいぶん身近なものとなりました。

大学生となった私は、物書きという夢を抱くようになりました。そして江別に不思議な縁あり、私は江別を舞台とした映画の脚本に関わらせていただきました。物書きという夢への第一歩です。それを、幼い記憶にある映画の町・江別で踏み出したということに縁を感じずにいたしません。

酪農学園大学 酪農学部食品流通学科4年 佐藤 幸登(さとう ゆきと)



私と映画の町・江別

私は江別の一番初めの思い出は、映画館です。幼少時代、地元映画館がなかった私は、映画を見ることが出来ず、片道一時間をかけて江別まで来ていました。

その幼少の頃から数年が経ち、私は江別に通う大学生になり、映画館もずいぶん身近なものとなりました。

大学生となった私は、物書きという夢を抱くようになりました。

そして江別に不思議な縁あり、私は江別を舞台とした映画の脚本に関わらせていただきました。物書きという夢への第一歩です。それを、幼い記憶にある映画の町・江別で踏み出したということに縁を感じずにいたしません。

私にとって、江別とは物書きとしての出発点です。故郷です。いろんな方に支えられて、出発することができました。ありがとうございます。

十年後、これを省みたときに、恥じない自分になれるよう精進します。

北翔大学生涯スポーツ学部スポーツ教育学科 4年 伊藤 真久(いとう まさひさ)



# 地域に根ざし、地域に活かされる江別カルタを目指して

北翔大学短期大学部教授  
任意団体江別創造舎代表

田口 智子

「生き生きと」

学ぶ喜び 文京台

これは、昨年(2013年)9月に完成した江別・いろはカルタの最初の句です。

江別創造舎は、2008年より江別の文化・歴史を題材とした江別カルタ制作に取り組んで参りました。5年という年月を経て、江別カルタが完成しました。と、大変嬉しく思っております。そして、完成に携わっていただきました多くの皆様には、深く感謝申し上げます。

江別カルタは、江別創造舎が取り組んだ最初の大きな取り組みでした。

江別の文化・歴史を題材とした江別カルタの制作過程では、大変多くの課題にぶつかりました。制作当初から数年間は、題材の再三の検討にも関わらず、完成をイメージしながら楽しく作業をしておりました。メンバーにとって作業過程で最も苦しかった時期は、2011年から2012年だったと思います。完成を間近に控えて、「江別の文化・歴史という大変重い題材を取り扱った江別カルタを制作してい

る」という大きな責任を感じたことでした。それは、代表である私にも十分感じとれるものでした。こうしたさまざまな工程を経て、周囲から大きなお力添えを得て、昨年9月に完成しました。

江別カルタの特徴は、江別の知財・地財を活用していることです。江別の文化・歴史を題材とし、2010年1月には広く句を募集しました。メンバーたちと何度も句の検討を図り、最終決定した江別カルタの句の解説については、佐々木孝一氏(前江別市情報図書館長)にご執筆をいただきました。そして、江別カルタの解説書と外箱には江別小麦ハルユタカの蘖原料を使用した加工紙を使用させていただきました。

このように、質実共に江別ブランドの江別カルタを完成させることができました。

今後、江別の文化・歴史の伝承ツール・交流ツールの助として、江別カルタが地域に

根ざし、地域に活用していただくことを願って、これからも真摯に活動していきたいと考えております。



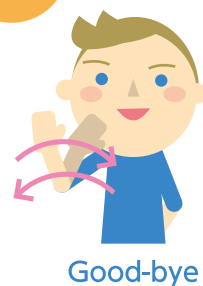
## 平成25年度野幌商店街クリスマスディスプレイコンテスト

野幌商店街振興組合  
経済共同事業部  
中谷 康夫

平成25年12月10日(火)から25日(水)までの期間におきまして、平成25年度 野幌商店街クリスマスディスプレイコンテストを開催致しました。参加12店舗で各店趣向を凝らしてのクリスマスディスプレイをし、商店街街路灯にもイルミネーションを取り付けました。年末の雰囲気盛り上げ、またご来店されたお客様に「お店を見ていただく」ことを目的に、そして来店に結び付けられるよう各店ディスプレイを致しました。期間中一商店街が明るくなったという声も聞かれました。



## What? アメリカの手話 & 日本の手話



Good-bye



さようなら

《あとがき》

大寒波や食を齧かすニュースが流れる中、幕開けをした午年でしたが、早くも3ヶ月。ソチオリンピックの興奮そのままに…  
日本代表選手の皆さん、感動をありがとうございます。

余韻を残したまま、春の芽生えと共に新しい時が始まるうとしていきます。

そして、あの日から3年目の春がやってきます。

どの位安らぎが取り戻せていることでしょうか？

いつもより少しだけワクワクできること、ワクワクが伝わるような活動ができること、そこにすばらしい何かが生えるのを良いですね。

そしてその事を「うらうら」「どい」紹介できたらいいと思います。

西懸 昭子